

(公財) やまがた育英会

駒込学生会館 板橋学生会館

寮生保護者のみなさまへ

(CC:評議員、監事、理事各位)

やまがた育英会学生寮によろこそ！

～34人の新しい仲間が入寮しました～



▲理事・役員とともに新入寮生が勢ぞろい

今年は、2倍を超える応募者の中から選抜された活気あふれる34名が全県下から入寮してきました。4年生が去り、ちょっと静かになった駒込や板橋の学生会館がパッと明るくなったようです。その澁漉とした若人を迎える「新入寮生歓迎会」が4月12日（日）駒込学生会館で開催されました。

歓迎会に先立って山形東高卒の石垣恭一氏が「今、君たちにしかできないこと～人生前半をどう生きるつもりだ?」と題して講演。この中で石垣氏は、「友と伴侶は一生もの。仲間を大切に」「大学では起業するつもりで学ぶこと。そうするとやる気が違う」「常にグローバルな視点で考える。留学生とどんどん話をすることは国際的視野の涵養に役立つ」「成人となったのだから政治に目を向けてほしい。具体的には投票に行くこと」。そして最後に「東北弁は武器になる。山



講演する石垣 恭一 氏

昭和30年 山形市生れ

山形東高・早稲田大学政治経済

学部卒 毎日新聞東京本社入社

販促宣伝部長などを歴任

現在、(株)竹橋農業研究所代表

形県出身ということをお願いしてほしい」と結びました。

歓迎式に入り、鈴木礼子代表理事が「親御さんたちの“東京で学ばせたい”との思いがあつてみなさんはここにいます。そ



▲大学生活への期待などを語りあった

打ちながら、大学や寮生活への期待などを仲間や先輩と語り合っていました。

のことを受け止めてしっかり学び、大人としてのマナーも身に付けてください」と呼びかけ、新入寮生は神妙な面持ちで聞き入りました。

▲1人ひとり自己紹介

その後、高校での部活動やこれまで頑張ってきたこと、趣味、特技、寮生活に期待することなどを一人ずつ自己紹介。新しい仲間の一言ひとことに目を輝かせてうなずき、打ち解けた後の懇談では、芋煮やつや姫のおにぎりに舌鼓を

【新入寮生紹介】 令和8年度の新入寮生は下記のとおりです。(敬称略・順不同)

板橋学生会館				
	氏名	大学	高校	出身
女子	加藤 みさき (かとう みさき)	昭和女子大学 人間社会学部 1年	羽黒高	鶴岡市
	高橋 凜音 (たかはし りんね)	明治大学 商学部 1年	山形商業	山形市
	洲崎 亜由菜 (すさき あゆな)	東京音楽大学 音楽学部 2年	山形北高	米沢市
男子	小関 唯人 (こせき ゆいと)	東洋大学 経済学部 1年	酒田光陵	長井市
	齋藤 優気 (さいとう ゆうき)	日本大学 法学部 1年	日大山形	山形市
	高梨 瑚太郎 (たかなし ことろう)	駒澤大学 文学部 1年	長井高	白鷹町

駒込学生会館				
	氏名	大学	高校	出身
女子	會田 姫子 (あいた きこ)	大妻女子大学 文学部 1年	東海大山形	天童市
	伊藤 環希 (いとう たまき)	法政大学 経営学部 1年	山形北高	上山市
	太田 祥乃 (おおた よしの)	東京成徳大学 応用心理学部 1年	山形中央高	山形市
	大原 恵 (おおはら めぐみ)	上智大学 外国語学部 1年	山形西高	東根市
	沓澤 紗子 (くつざわ さやこ)	立教大学 法学部 1年	山形西高	山形市
	熊谷 結 (くまがい ゆい)	国際医療福祉大学 赤坂心理医療福祉マネジメント学部 1年	酒田西高	酒田市
	佐藤 はるか (さとう はるか)	早稲田大学 政治経済学部 1年	山形東高	山形市
	菅原 愛菜 (すがわら えま)	東京家政大学 栄養学部 1年	酒田南高	遊佐町
	富樫 りさ (とがし りさ)	明治大学 法学部 1年	致道館高	鶴岡市
	中沼 マノア (なかぬま まのあ)	慶應義塾大学 文学部 1年	山形東高	山形市
	長谷部 未優 (はせべ みゆ)	明治大学 法学部 1年	酒田西高	酒田市

男子	板垣 琉夢 (いたがき りむ)	早稲田大学 国際教養学部 1年	山形南高	山形市
	井上 颯希 (いのうえ そうき)	東京大学 理科 I 類 1年	致道館高	鶴岡市
	尾形 昌俊 (おがた まさとし)	慶應義塾大学 商学部 1年	致道館高	鶴岡市
	尾形 佑樹 (おがた ゆうき)	東京大学 理科 II 類 1年	山形東高	山形市
	小松 寛明 (こまつ ひろあき)	立教大学 社会学部 1年	酒田東高	酒田市
	佐藤 惇平 (さとう じゅんぺい)	日本大学 法学部 1年	日大山形	真室川町
	佐藤 大雅 (さとう たいが)	日本大学 経済部 1年	酒田西高	酒田市
	鈴木 遙人 (すずき はると)	早稲田大学 文学部 1年	致道館高	鶴岡市
	高橋 総太 (たかはし そうた)	上野学園大学 音楽学部 1年	庄内総合	鶴岡市
	西田 敦 (にしだ あつし)	文教大学 経営学部 1年	日大山形	上山市
	能登 紅永 (のと こうめい)	横浜国立大学 都市科学部 1年	山形東高	山形市
	宮崎 瑛士 (みやざき えいじ)	中央大学 法学部 1年	山形南高	山形市
	横澤 俐旺 (よこさわ りお)	東京大学 理科 I 類 1年	山形東高	山形市
	横戸 優太 (よこと ゆうた)	埼玉大学 経済学部 1年	山形南高	山形市
	吉田 橙真 (よしだ とうま)	青山学院大学 文学部 1年	山形南高	山形市
	安達 寛悟 (あだち かんご)	日本大学 理工学部 2年	日大山形	山形市
工藤 伯 (くどう はく)	東京大学 文学部 4年	山形東高	山形市	

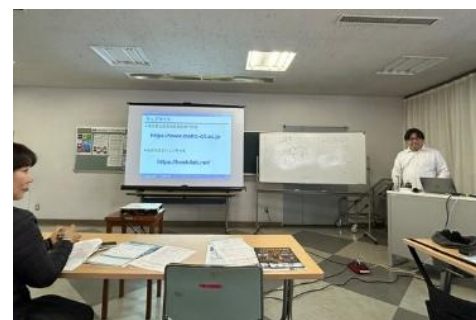
AI について学んできました

「ミュトス」という最強クラスの AI モデルが発表され、世間が騒がしくなっていますが、AI を「愛」と読んでしまったり、勘と経験だけで生きてきた寮監には何のことかさっぱり。ただ、最新の情報を学んでいる寮生と話をするために、また好むと好まざるとにかかわらず AI 抜きには考えられなくなる社会に突入していることから、北区広報紙に「AI を知る」という講座を発見し、聴講してきました。

「よ～し、これで次の寮監だよりは AI に書いてもらえるぞ！」と、よく耳にする ChatGPT や Gemini と言った AI ソフトを使いこなす講座だと勝手に思い、高い受講料 (300 円×2 回) を払い、勇んで参加しました。ところが、内容は、AI 技術の基本概念、種類、歴史、活用事例、将来展望といったもの。寮監だより活用への夢は潰れましたが、気を取り直し居眠りしそうになりながらも 2 日間学んできました。

そこで分かったことが 3 つ。AI は、①データから判断を学ぶ仕組みであり人間の脳とはかなり違う ②意志や感情を持っているように振る舞わせているが、これを持ってはいない ③大量の学習済みモデルを使って次に来そうな要素を選ぶのが「生成 AI」—ということ。

賞味期限の表示も一応の目安としか考えず、自分の舌を信じて食品を食べているような人間ですが、もたらされる情報をうのみにせず、また複数の情報を確かめたうえで最終的には自分の頭で考え判断することが大切だと改めて感じたところです。



▲都立産業技術専門学校星教授を講師に



▲トランプを引いて食事の班分け

こうした配慮も長く続けられている行事だからだと寮監は感心したところ。1人の不明者を出すこともなく着いた新宿駅で夕食。時間は午後7時過ぎ。班分けをし新たなグループで自己紹介をしながら栄養補給をしましたが、ここでも上級生が費用を持つ大人の対応が見られました。

何と最後に猛ダッシュ!?

夕食休憩にたっぷり時間を取ったこともあり池袋駅到着は午後11時ごろ。「あと3つの駅だよ」などと励ましあいながら歩を進めました。そして最終の駒込駅に到着したのが日付の変わった午前0時30分。到着駅ごとにその駅名をリーダーが着ているTシャツに寮生が書き込んでいきますが、その掉尾を飾る記者には来年のリーダーを務める現男子寮長の村井駿介君（早大3年・山南卒）が指名されました。「駒込」と大書すると大きな拍手が沸き上がり、ハイタッチしたり抱き合ったり、互いの頑張りを称えあう姿が見られました。駒込駅から駒込学生会館まではだらだらの上り坂ですが、男子学生有志は最後に徒競走よろしく猛ダッシュで駆け上ります。そしてゴールの先には参加できなかった寮生や激励に訪れた先輩が「おかえりなさい」の横断幕を掲げて待ち受け、無事の到着と完歩を祝ってくれました。さすが若さのなせる業と青春の一コマを共有でき嬉しい気持ちになった長い一日の終わりでした。参加の寮生、応援の役員やOB・OGのみなさん、ありがとうございました。



▲歌手や俳優など有名人の手形に興味を（上野公園）



▲コース途中でOBが待ち受け、気付け薬を差入れ



コース途中でOBが待ち受け、気付け薬を差入れ、無事の到着と完歩を祝ってくれました。さすが若さのなせる業と青春の一コマを共有でき嬉しい気持ちになった長い一日の終わりでした。参加の寮生、応援の役員やOB・OGのみなさん、ありがとうございました。

【インタビュー】

徒歩一周リーダー 高橋 悠哉 さん（駒沢大 仏教学部4年 山形南卒）
今年が一番大変

4年間毎年参加していますが、リーダーとしての責任があった今年が一番大変でした。特に気を使ったのが歩くペース配分です。サブリーダーの村山佳菜さん（立教大 文学部4年 山形西卒）と下見とまめな打合せを行い、本番に臨みました。苦労はありましたが1年生から「楽しかった」という感想を聞いてやって良かったと思っています。こうした達成感を味わえるのがこの寮の良いところだと思います。

参加者の声



佐藤 大雅さん
日大経済学部1年
（酒田西高卒）

入寮前からどんなものかとても興味がありました。サッカーをやっていたので体力はあると思っていましたが、距離感が分からず終わりが見えないのが大変でした。4年生からご飯をご馳走になったことや女子とも話げできたのがとてもよかったし楽しかったです。



大原 恵さん
上智大外国語学部
1年（山形西高卒）

高校の時は登山部でしたので「忍耐」という意味では登山と似てました。駅によって緑が多かったり華やかだったり同じ東京でもまったく雰囲気が変わるところも発見でした。一人ではなかなか体験することができないので、また来年も参加したいと思います。

芝蘭結契

～寮生の活躍にみんなで拍手～

「芝蘭結契」とは、よい感化をもたらす才能・人徳に優れた人との付き合いのこと。スポーツに限らず音楽や絵画、文芸などの芸術文化、各種コンテスト、サークル活動などでの寮生の活躍を紹介し、みんなで称えあいたいと考えています。それが、寮生の気づきや励みにもなるからとの思いです。

理工系大学生のための企業交流会で発表



伊藤 さや さん（東京理科大学 工学部 3年
鶴岡南高卒）

4月25日、丸の内で開催された「理工系大学生のための企業交流会」に学生リサーチャーとして登壇しました。

この企画では、事前に旭化成と日本航空の2社を訪問し、自身のリサーチテーマをもとに「企業の魅力」を再定義。当日は「若手の成長」をテーマに訪問結果を報告するとともに、入社6～8年目の社員とパネルディスカッションを行い、企業側へ学生の視点をし

▲仲間とともに発表する伊藤さやさん（左端）

っかり伝えました。「理工系のバックグラウンドを活かして働く現実を自分の目で確かめる貴重な機会となった」。「一見男性社会のように見える業界でも、自分らしく楽しく働く女性のロールモデルに会えたことは、同じ理工系女子として大きな安心と勇気に繋がった」と話してくれました。

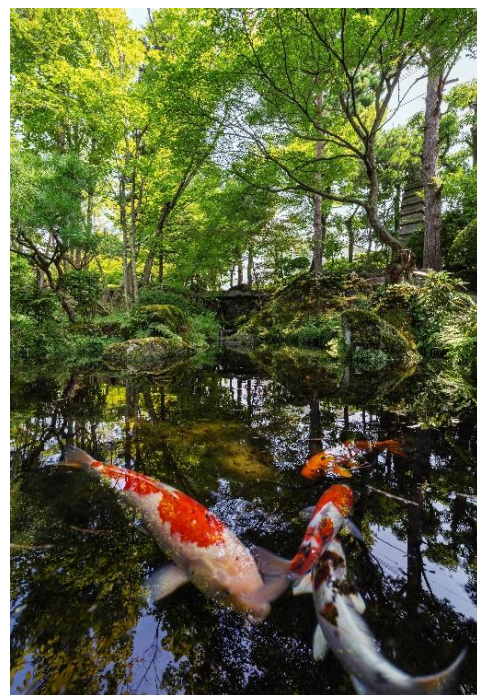
洗心庵写真コンテストで最優秀賞

したら あさひ
設楽 旦陽 さん（日本大学 芸術学部 2年
山形南高卒）



山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」の第12回写真コンテスト一般の部で「丹碧（たんぺき）の世界」と題した右の作品が最優秀賞を受賞しました。

池を悠々と泳ぐコイや日差しを受けて輝く木々の緑を収めた1枚で、池に映る青空など夏を感じさせる様々な要素を広角レンズで写し取る撮影技術の高さや、奥行きのある構図などが評価されました。



▲受賞作品「丹碧の世界」

海外留学（遊学）者の帰国報告

寮生への「海外留学（遊学）支援」を試行しています。この制度を利用して令和7年度は13人が海外に出かけており、帰国後、寮会などでその成果を発表しています。5月15日（金）に開かれた駒込の合同寮会では、3年生2人が報告をしました。その概要を簡単に紹介します。

オーストラリアホームステイ

廣居 太聖 さん（東洋大学 経済学部3年 長井高卒）

- 期 間 令和8年1月31日～4月1日（62日間）
- 遊学地 オーストラリア NSW州 シドニー
- 内 容 ホームステイでの語学学習、現地での交流
オーストラリアの多文化社会の理解ほか



▲報告する廣居 太聖さん



▲世界自然遺産のブルーマウンテン、スリーシスター

○気づきと感想

日本のトイレがいかに綺麗で世界に誇れるものだと感じた。広大な土地に3,000万人という人口でバスや鉄道などの本数が少なく苦労した。

英語の語学力に不安を持っていたが、インプットよりもアウトプットを意識し、積極的に会話をすることで観光をするうえで困らない程度の英語力が付いた。また黙っていることはイエスであり、意見をはっきり言わないと自分が同意した前提で話が進んでいく。

「肌の色」「生れた土地」「話す言語」など自分と異なる背景を持った人たちとたくさん交流することで自分の常識の狭さに気づき、「正解は一つではない」という考えを持てるようになった。自分の中での一番の変化は「価値観が広がった」ことであり、日本や山形の良さを再認識する機会ともなった。

ドイツ デュッセルドルフ大学で在外履修

檜山 祐 さん（上智大学 外国語学部3年 酒田東高卒）

- 期 間 令和7年10月1日～3月17日（約6か月間）
- 留学地 ドイツ デュッセルドルフ
- 内 容 デュッセルドルフ大学でのドイツ語コース履修
ドイツ人学生とのタンデム学習
ドイツ語だけでなく英語の授業も履修することで総合的な語学力の向上を目指す



▲クイズ形式の質問も交えて発表した檜山 祐さん

○気づきと感想

・**留学先**：デュッセルドルフは、日本人が約 7000 人住んでいる都市で日本食スーパー、日本食レストランが多数存在しており、日本人との遭遇率が高かった。



▲各国から来た留学生の仲間と

・**学校生活**：ドイツで授業を受けて感じた日本との違いは主に 2 つ。1 つ目は、文法を気にせず沢山話す人が多いこと。文法を気にしてしまいがちな日本人とは対照的だった。授業でスピーキングの時間はあまり発言できなかったが、文法の内容になると日本人の方が成績が良くなるのが印象的だった。2 つ目は、手の挙げ方。ドイツでは、手をまっすぐ伸ばして挙げるのがタブーとされていた。(ナチスを連想させるため)

・**交通**：公共交通機関は遅延が多く、時間通りに来ないというのは当たり前前で、ストライキもいつ起こるか分からないので、その懸念を

感じながら生活するのはストレスだった。

・**食生活**：パスタやシリアルを中心に自炊。円安がひどいため、ずっと節約していた。時々外食もした。スーパーのパンコーナーが安く種類も豊富で色々試してみるのが楽しかった。

・**交通機関でのマナー**：日本とは違い大きな声で話す人や電話で話す人、スマホの音をそのまま流す人などが多く、最初はそれがとてもストレスだった。

・**得られた成果・学び**：主に 3 つあり、1 つ目は忍耐力。日本とは文化が違う環境で生活することは、ドイツの文化を受け入れることであり、そのためには忍耐力が必要であった。2 つ目は、問題解決能力で、留学中に困ったことが多くあったが、自分で行動を起こし、問題を解決できたことは、自信につながった。3 つ目は言語能力である。留学中には主に英語とドイツ語を使っていたが、留学初期に比べて、自然と言葉が出てくると感じるようになった。この留学で培った忍耐力、問題解決能力、言語力を活かして、グローバルに活躍できる人材になれるように頑張りたい。



▲有名な Xmas マーケット

寮費＋自治会費の引き落としがあります

◆ 6月29日(月)に寮費とともに自治会費「2,000円」を指定口座より引落しいたします。

◇ 駒込学生会館女子は洗濯機使用料「3,000円」も引落としになります。

よろしく願いいたします。

※「やまがた育英会」美術品シリーズはお休みしました

(公財) やまがた育英会 寮監 石井 隆

ご感想・ご意見をお待ちしています

t-ishii@yamagata-ikueikai.or.jp